

平成27年度防災関連事業計画について（ハード事業）

1. 治水対策事業

■雨水ポンプ場整備事業 予算額 581,368千円

平成27年度末の供用開始を目指し、芳野ポンプ場の整備を行う。

芳野ポンプ場：ポンプ棟の建築並びにポンプ設備、機械設備及び電気設備の設置

区分	排水量	エンジン	電動ポンプ
計画排水量	Q=9.09 m ³ /S	φ1200 mm×3台	φ400 mm×2台
第1期事業	Q=6.22 m ³ /S	φ1200 mm×2台	φ400 mm×2台

■雨水ポンプ場改築事業 予算額 420,200千円

ポンプ場の長寿命化（耐震及び更新）に向けた事業を行う。

堀江ポンプ場：耐震及び更新工事	事業費	85,000千円
豊田川ポンプ場：耐震及び更新工事	事業費	335,200千円

■幹線管渠整備事業 予算額 273,407千円

区分	計画延長	26年度末	27年度	28年度以降
二ツ杵排水区	□1.6m×1.6m ほか L=約590m	L=約450m	積算資料作成	L=約140m
下之郷第三排水区	□0.8m～φ1.35m ほか L=約655m	L=約246m	実施設計 L=約280m	L=約129m

■雨水貯留施設設置事業 予算額 66,600千円

新川流域水害対策計画（47計画・河川分）により雨水貯留施設を全体で「20,330 m³」実施するにあたり、小場塚排水区の上新公園に設置する雨水貯留施設工事、枇杷島公園に設置する雨水貯留施設工事のための詳細設計を行う。

【47計画・河川分の実績】

計画量 ①	実施済み ②	未整備量 ①-②	進捗率 ②/①
20,330 m ³	15,330 m ³	5,000 m ³	75.4%

区分	地区	形態	容量
し尿処理場施設内調整池	新川	オープン調整池	5,085 m ³
清洲インターチェンジ部調整池	清洲	オープン調整池	4,127 m ³
中沼101号	春日	地下貯留	940 m ³
名高速高架下調整池	西枇杷島	地下貯留	835 m ³
助七公園貯留地	新川	地下貯留	293 m ³
夢の森保育園	春日	オープン調整池	200 m ³
ネギヤ保育園	春日	オープン調整池	150 m ³
清洲城広場	清洲	地下貯留	2,500 m ³
新川西部浄化センター	西枇杷島	地下貯留	1,200 m ³

2. 公共施設の耐震化事業

■橋梁維持費 予算額 6,500千円

学校橋及び落合歩道橋について、耐震補強及び補修工事のための詳細設計を行う。

【施設概要】

学校橋	所在地/春日新田畑	延長/68.8m
	構造/コンクリート橋	架設年度/平成4年
落合歩道橋	所在地/春日須ヶ田	延長/66.6m
	構造/コンクリート橋	架設年度/昭和47年

【改修内容】

耐震橋梁改修工事

学校橋	落橋防止、支承補強	→ 平成28年度施工予定
落合歩道橋	落橋防止、沓座拡幅	→ 平成28年度施工予定

■稲春橋改修事業（委託事業） 予算額 7,000千円

稲春橋改修事業（耐震補強補修工事）について、稲沢市へ協定に基づく工事委託を行う。

3. 避難所関連事業

■屋内運動場非構造部材耐震化事業 予算額 479,906千円

避難施設でもある市内小中学校の屋内運動場の、天井材や内外装材及び照明器具などの非構造部材の耐震化を行い、施設の安全性と防災機能の強化を図るため、施設の改修工事を行う。

平成26年度からの継続事業で、平成27年度に全小中学校の屋内運動場の非構造部材耐震化事業が完了する。

小学校	西枇杷島小学校・清洲小学校・桃栄小学校・春日小学校
中学校	西枇杷島中学校・清洲中学校

■校舎構造体耐久性調査業務 予算額 6,600千円

築年数の古い校舎の構造体耐久性調査を行う。

平成26年度からの継続事業で、平成27年度に全小中学校の校舎構造体耐久性調査業務が完了する。

小学校	古城小学校・清洲東小学校・桃栄小学校・星の宮小学校・春日小学校
中学校	春日中学校

■学校施設長寿命化等計画策定業務 予算額 31,100千円

老朽化した学校施設の効率的かつ効果的な施設整備を行うにあたり、校舎構造体耐久性調査の結果を踏まえて、全小中学校ごとの具体的な維持管理・更新方針を定める計画として、学校施設長寿命化等計画を策定する。

平成 2 7 年度防災関連事業計画について（ソフト事業）

1. 自主防災組織強化事業

- 自主防災活動支援費** 予算額 7,478千円
 自主防災会のブロック化を推進し組織力を強化するため、自主防災会への支援を実施する。
 - (1)自主防災組織補助金（平成27年度～29年度の3か年で実施）
 - 内容 ソフト事業…手づくりハザードマップの作成、研修会・講演会への参加・開催
 - ハード事業…消火器等の新規購入や買替、防災資機材の購入
 - 補助限度額 50万円 補助率 4/5
 - (2)消火器薬剤の購入に関する補助金
 - 訓練や消火活動に使用した消火器の薬剤の詰替にかかる費用の補助
 - 補助率 100%

2. 防災訓練

- 総合防災訓練（9月5日（土））** 予算額 1,188千円
 会場 庄内川水防センター周辺〔予定〕
 訓練内容 被害状況収集訓練、倒壊家屋救出訓練、救護所設置訓練、給水訓練、炊き出し訓練等
 参加機関 広域消防署、市消防団、防災協力会、自衛隊、赤十字奉仕団、自主防災会等
- 自主防災訓練**
 安心して暮らせる事業 200円×世帯数

3. 地域防災リーダー養成講座

- 委託料** 予算額 374千円
 災害の被害を最小限に食い止め、地域防災力を向上させるため、地域防災リーダーとして養成する。地域の自主防災活動を通じて、防災・減災対策活動（危険箇所の把握等）を行っていただき、特に災害時には、避難所の運営に率先して携わっていただく人材を養成することを目的とする。

- 養成講座
 開催日時 第1回 平成27年4月26日（日）午前9時～正午
 内容 講義及びグループワーク
 講師 レスキューストックヤード 浦野 愛 氏
 第2回 平成27年5月9日（土）午前10時00分～11時30分
 内容 講演会（防災講演会を兼ねる）
 講師 名古屋大学 特任准教授 阪本真由美 氏
 第3回 平成27年7月12日（日）午前9時～正午
 内容 講義及びグループワーク（避難所運営訓練〔HUG〕）
 講師 レスキューストックヤード 浦野 愛 氏
 会場 清洲市民センター
 募集人員 40名

- フォローアップ講座
 開催日時 第1回 平成27年5月9日（土）午前10時00分～11時30分
 内容 講演会（防災講演会を兼ねる）
 講師 名古屋大学 特任准教授 阪本真由美 氏
 第2回 平成27年11月22日（日）午前9時00分～正午
 内容 講義「地域防災リーダーとしての地域での活動」
 ※リーダーとして自主防災訓練の企画や今後の防災・減災活動の術を学ぶ。
 講師 レスキューストックヤード 浦野 愛 氏
 第3回 平成27年12月13日（日）午前9時～正午
 内容 講義及びグループワーク「発災時に起きた事案検討」
 ※過去の災害で発生した事案をどのように対応するか検討し、他のグループと意見交換を行う。
 講師 レスキューストックヤード 浦野 愛 氏
 会場 清洲市民センター
 募集人員 40名（平成26年度及び27年度の受講者）

4. 地域防災計画策定（改訂）事業

- 地域防災計画策定費** 予算額 4,601千円
 東日本大震災の発生を受け、想定外力の引き上げを行うべく、愛知県防災計画の被害予測が、平成26年5月30日の愛知県防災会議にて発表された。清須市においては、最大震度が7、死者200人、建物倒壊等が3、900棟の被害が予想されている。については、愛知県の計画変更を受け、市民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、市の有するすべての機能を十分に発揮するための計画策定（改訂）を行う。

5. 耐震診断・耐震改修事業

- 民間木造住宅耐震診断費** 予算額 1,920千円
 地震による家屋の倒壊等の被害を軽減するため、昭和56年5月31日以前に着工された旧基準民間木造住宅の無料耐震診断を実施する。

（計画戸数 40戸
 診断内容 現地調査、一般的補強アドバイスと改修工事を行うときの目安となる工事費の説明）

- 民間木造住宅耐震改修費** 予算額 10,000千円
 地震による家屋の倒壊等の被害を軽減するため、昭和56年5月31日以前に着工された旧基準民間木造住宅の耐震化を支援する。

（計画戸数 10戸
 補助対象 判定値が1.0未満⇒1.0以上となる耐震改修工事等
 補助金 100万円（身体障害者手帳の1・2級又は療育手帳のA種の方が世帯にいる場合は130万円）

■民間非木造住宅耐震診断補助金 予算額 1,400千円
 地震による家屋の倒壊等の被害を軽減するため、昭和56年5月31日以前に着工された戸建て、併用住宅、共同住宅の非木造住宅耐震診断を支援する。

- 一戸建て住宅
 - 補助対象経費 耐震診断に要する経費
 - 補助金交付額 対象経費の2/3以内(限度額8万6千円)
- 戸建て以外の住宅
 - 補助対象経費 ①耐震診断に要する経費
 - ②延べ面積に応じて算出した額(詳細※印)
 - 補助金交付額 対象経費の2/3以内(限度額120万円/棟)
 - ※1,000㎡以内⇒×2,000円 1,000㎡超~2,000㎡以内⇒×1,500円
 - 2,000㎡超⇒1,000円

■住宅耐震改修相談会 予算額 51千円
 愛知建築士会会員を相談員として、耐震改修に関する相談会を開催する。
 日時：年1回 午前10時~午後5時
 会場：市役所本庁舎相談室

■耐震シェルター・防災ベッド購入補助 予算額 1,500千円
 木造住宅の1階に安全な空間を確保するために設置する、耐震シェルター・防災ベッドの設置費用を補助する。
 ○耐震シェルター・・・補助限度額30万円×3件
 ○防災ベッド・・・補助限度額30万円×2件
 ※補助対象等の詳細は、愛知県の補助要綱等を参考とする

6. 東海豪雨15年費 予算額 32,000千円
 平成12年9月11日、時間雨量97ミリという豪雨となり、新川堤防が破堤し、清須市(旧西枇杷島町、旧新川町)が甚大な被害を被った。それから15年、災害の記憶を風化させないため、当時を思い起こして防災と減災を考え、防災意識向上を目指すための事業を実施する。

■パネル展示等事業
 市図書館の展示スペースにおいて、写真パネル展及び映像(記録ビデオ)放映を実施し、東海豪雨を振り返る。また、図書館内の読み聞かせ室において、来館者に対して市民の語り部による講話を行う。
 【開催予定日】平成27年9月2日(火)~30日(水)

■市民参加による道路側溝清掃事業
 各ブロックにスコップ等を配付し、市内全域で市民参加による道路側溝の清掃を行う。
 【開催予定日】平成27年9月12日(土) 少雨決行・荒天中止

■雨水ポンプ場施設見学事業
 市内にお住まいの親子を募集し、雨水ポンプ場施設の概要説明及び見学を実施する。
 【開催予定日】平成27年9月6日(日)、13日(日)の2日間

7. 備蓄物資の整備 予算額 2,160千円
■備蓄食料購入費
 ○アルファ米・・・1,000食 ○クラッカー・・・6,000食
 ○ビスコ・・・2,400食 ○粉ミルク・・・480回分

8. 危機管理体制強化事業 予算額 4,454千円
 危機管理や災害応急対応のスペシャリストである自衛隊OBを、引き続き雇用する。
 ○勤務体制 週4日(31時間)
 ○主な業務 災害発生時…災害対策本部の運営(自衛隊関係機関との連絡調整業務)
 危機管理…危機管理体制の見直し{地域防災計画、BCP(業務継続計画)}
 災害対処…自主防災組織活性化業務(自主防災訓練指導など)

9. 東日本大震災被災自治体の支援
 福島県広野町への職員派遣を継続〔4年目・1年間〕
 宮城県東松島市への職員派遣を継続〔2年目・1年間〕